

【学校法人興國学園 学校評価の実施について】

当学園におきましては、学校評価（自己評価及び学校関係者評価）を実施いたしました。なお、評価の実施に関しましては、「学校評価ガイドライン」に従い適正に実施いたしました。

学校評価の内容

1. めざす学校像
2. 中期的目標
3. 自己評価（教職員へのアンケート形式で実施）
4. 本年度の取組内容及び自己評価（実施時期 平成29年9月）
5. 学校関係者評価（実施時期 平成29年10月）

上記の学校はすべて興國高等学校です。以上の結果をそのままホームページに公開いたします。

平成29年10月27日

学校法人 興國学園

理事長 草島葉子

平成29年度 興國高等学校 学校評価

1. めざす学校像

建学の精神

オンリーワン教育を実践し、人間力豊かな人材を育成することを目的とする。
「オンリーワン教育とは、学力という物指は人としての一点を捉えたにすぎず、自分の長所・得意なところで夢や目標を見つけさせ、そこで人間としての力を伸ばしていく教育」

教育目標

- ・社会に役立つ力強い男子を育成する
- ・自分と関わり合う人との縁を大切にし、常に感謝の気持ちを忘れない人を育成する
- ・自分で志を立て、それに向けて地道に努力する人を育成する

2. 中期的目標

①社会のニーズに即したコース・カリキュラム運営

“オンリーワン教育”の展開の概要

偏差値教育だけでは引き出せない生徒一人ひとりの、学習へのモチベーションの向上を、既存の学校教育の枠にとらわれず、あらゆる角度から点検し、大学や専門学校との連携によって、より緻密に個々の目標達成を目指します。特に私学であることの独自性とフレキシブルなカリキュラムの実践と、教材開発や講師採用についても柔軟性を持って対応する。

②授業改革の推進

- (イ)「学校は学びの場である」という原点への回帰
- (ロ)生徒が「学びたい」思える教育
- (ハ)生徒に「学ばなければ」と思わせる教育

③生徒指導の取組強化

- (イ) 基本的な生活習慣や公共マナーの確立と指導、また授業内容の充実と発展、並びに環境の整備といった項目を重点目標として取り組む。
- (ロ) 公開授業の実施など、授業の充実と生徒の進路目標の確立に向けて、学年団と校務分掌（教育研究部を中心に）が連携して取り組む。
- (ハ) 進路指導の側面から、進学面では指定校のさらなる拡大と内容の充実を図り、就職面では、求人の新規企業開拓に向けて就職指導と第2学年の早期から企画し、より活性化した新たな就職指導の形態を目指す。

④国際教育の推進

国際的な視野を広げ、グローバルな感覚を持った人間を育てるため、出来るだけ多くの機会を提供出来るようなカリキュラム・行事を実施する。
特に海外短期語学研修や海外研修旅行を充実させる。

3. 自己評価アンケートの結果と分析

①毎年、全職員から提出された自己評価、並びに次年度の目標設定を記載したシートを基に管理職との個別面談を全員に実行しています。この面談を通じて、職務に対する姿勢や方向性を互いに認識し合い、資質向上と学校運営の発展に努めています。下記の表は、今年度、提出されて整理したものです。

毎年、全職員から提出された自己評価、並びに次年度の目標設定を記載したシートを基に管理職との個別面談を全員に実行しています。この面談を通じて、職務に対する姿勢や方向性を互いに認識し合い、資質向上と学校運営の発展に努めています。下記の表は、今年度（平成28年度）提出された個々のシートを整理・集約したものです。

〔単位：人〕

No.	項目	評価S	評価A	評価B	評価C	評価D	その他	小計
①	校務分掌	3	18	35	25	4	0	85
②	担任業務	3	10	18	25	4	0	85
	副担任業務	0	3	12	6	1	3	
③	教科指導	4	13	42	22	1	1	83
④	クラブ活動	4	16	27	24	11	4	86
小計		14	60	134	102	21	8	339
評価分布状況(%)		4.1	17.7	39.5	30.1	6.2	2.4	100%
(下段/昨年度数値)		3.9	12.0	36.7	31.8	7.0	8.6	

《表の見方》（小計の差異は顧問等の職種により回答なしの場合があるため）

(イ) 項目の①～④は本校の業務分類です。

(ロ) 評価S～Dは、次のように5段階評価で分類します。

- ・ **評価S**：大幅に目標を上回っている。
- ・ **評価A**：少し目標を上回っている。
- ・ **評価B**：目標通り。
- ・ **評価C**：少し目標を下回っている。
- ・ **評価D**：大幅に目標を下回っている。
- ・ **その他**：校務分掌等で該当の業務分担がない教員

(ハ) 調査対象者は、専任教諭**44**名、常勤講師**41**名 の計**85**名です。

(ニ) 今後の改善点

①教職員の資質向上に向けて

- ・ 教科間ないし教科外の教員が互いに授業見学を取り入れ、授業の質向上に役立っています。
- ・ 新しい取組みのための学習や資格取得等の講習へ積極的に参加しております。
- ・ 教育の実践に活かせることが出来る専門分野の方の講演会を定期的実施しています。
- ・ この他、新任教員の研修にも努めています。

②生徒指導・学習指導・進路指導について

- ・ 通学路や交通機関利用時、並びに自転車通学を含めての登下校時のマナーを徹底
- ・ クラブ活動や興國寺子屋への参加率向上を目指します。
- ・ 高大連携を費用面だけに留めるのではなく、高大相互に授業の連携を図り、大学進学時に単位認定を考慮する取組を進めていきます。
- ・ 大学入試や社会の要請に応える力をさらに育成するため、漢検・英検受検の充実を図ります。
- ・ 全コース、学習能力向上の為に勉強合宿実施を進めていきます。
- ・ 個別指導のさらなる充実のため「学習カルテ」や豊富な経験を持つ「学習ソムリエ」指導を推進します。

4. 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
○	コース・カリキュラムの改革	・進学アカデミアコースを軌道に乗せる 3つのカテゴリー（ベーシック・チャレンジ・スポーツ&アクト）		・進学アカデミア6クラス305名でスタート
		①タブレットPCをフル活用したKOKOKUオリジナルのITC教育の導入	マドレの活用度合 Classiの活用回数	・Classiの環境整備は29年度中に完了
		②AC独自イベントの成功（ハロウィンMT、夏の宿泊行事、AC7等）	アンケートの満足度	・8月に広島県庄原で新民泊行事実施（地域振興に貢献）
		③自分で学習計画を立て、自分で達成していく態勢の確立	学習計画の達成度	・授業・寺子屋・検定・自主学习を各自組合せた計画を作成
○	教育内容充実	SAD・ADコース、AAコース：①個々の能力・進路に対応したプログラムの提供 ②モチベーションの向上（各種大学・弁護士事務所・病院等の見学、高大連携による大学授業の受講） ③単語テスト、毎日課題を開始し授業の質向上	センター試験受験者 目標 300名 国公立大合格 30名	・センター試験受験者314名（昨年比209増） ・国公立大 39名 ・授業の都度課題を課し学力のレベルアップに
		CTコース（公）：①公務員受験者に対する補習の増強＋専門学校でのセミナー受講 CTコース（幼）：①提携保育園との連携強化、各種検定の取得強化	公務員試験合格者数 検定取得数	・公務員試験一次合格者公務員80名、自衛官54名 ・保育検定合格者 i級前期合格1名（昨年全6） 2級前期合格2名（昨年全14）
		ITB科：①タブレットPCの利用拡大 スケジュール管理、期日管理 ②学習機会の増強（勉強合宿の充実） ③興國商人プロジェクト年間スケジュールに沿った予算の作成と決算の報告	タブレットPC利用頻度 国公立大合格数 ITBスターの常設化	・各教科タブレット使用授業コマ数で13/28(46%) ・夏勉強合宿実施 ・文化祭でのITBスター企画（コーヒ&パン実施に向け計画）
○	授業改善への取組	・先生たちの通信簿（生徒からの授業評価） ・研究授業/公開授業→教科指導研修会 ・各学年、コースのカリキュラムの見直し	評価Aの教員数 研究授業開催数 見直し実施したか	・非常勤も含めた全教員に通信簿評価実施 ・研究授業は全教科で実施 各教科会議で授業力向上へ
○	国際教育の推進	・短期海外研修（イギリス/カナダの2コースを設定） ・中期、長期留学制度の確立と促進 ・（CT）研修旅行先での職業体験	参加人数 留学人数 留学受入人数	・参加人数64（英36、加28） ・昨年比+18名 ・海外留学人数4名（+2） ・留学受入人数1名（±0）
	生活指導の徹底	・挨拶運動（Say Hello Project） ・カウンセリングの機能強化（スクールカウンセラー） ・携帯電話（スマホ）の新しい活用ルールの確立と順守 ・駐輪場使用状況を把握し、利用の効率化を図る ・交通マナーを徹底し通学中の安全を確保する	挨拶運動の実施状況 カウンセリング生徒推移 ルールを確立したか 状況の把握 通学中の事故件数	・セイロープロジェクト継続中 ・カウンセリングの生徒増加 ・診療内科医との面談増 ・第5駐輪場新設（51台） ・自転車接触事故1件

5. 学校関係者評価

- ①学校評価全体としては、評価 S・A・B の割合が 56.3%と過半数を占め、さらに昨年比+3.7%と改善されており、教職員の皆様の努力の成果であると、高く評価致します。
- ②創立 90 周年記念の年であり、新校舎の完成により教育環境が充実する折に、設備だけでは無く、教育内容が充実している実感できることは、大変喜ばしいことだと思います。
- ③特に各コース・カリキュラムの改革に於いては、時代のニーズの変化を巧みに捉えて、常に改革にチャレンジする姿には、敬服いたします。今年度は進学アカデミアコースを立ち上げ見事に成功に導いて頂きました。生徒数も増加し、ますます潑刺とした学校になりました。
- ④今後は、更なる向上を目指して、高い目標にチャレンジして頂きたいと思います。教職員組織も大きくなり、決して1人や2人の努力では、成果が出難くなっております。どうか全員の英知を結集し、チームワークの力で達成して頂きたいと願っております。

以 上